

### 3 消費者に品質の良さを知ってもらいたい

中里 有加里

(平成 20 年度野菜園芸学科卒)

就農年	平成 21 年
就農地	茨城県結城郡八千代町
主な作物	メロン 加工トマト キャベツ 白菜



農業は「やらなきゃいけないこと」から「やりたいこと」に

#### 【農大入学を決意したきっかけ】

親戚に農大の卒業生がいたので、以前から農大については知っていました。高校生の時に様々な進路を模索した結果、自分の家が農家でもあり就農することも考えだしました。高卒後すぐに就農するよりも、専門的な知識を学び、資格も取り、就農する上での交友関係も広げたいと考え農大への入学を決意しました。

#### 【在学中の思い出】

在学中にはグループの仲間たちと作業効率を上げるための工夫や栽培方法などについて、様々なアイデアを出し合いながら日々お互いを高めていけたことがとても心に残っています。

また、ヤンマー懸賞作文の授賞式では、集まった多くの先生方からアドバイスをいただきました。それまで農業は地味なものと考えていましたが、「農学」という果てしなく奥の深い学問であると認識を改めることができたことが、一番の思い出であり私の財産です。

#### 【就農したきっかけ】

自分の家が農家なので、農大に入学した時点で卒業後は就農しなくてははいけないと考えていました。しかし、「やらなきゃいけないこと」から「やりたいこと」に変わる機会を農大が与えてくれました。それが、全国農業大学校交換大会です。全国から集まった学生たちは口々に農業への熱い思いやすばらしさ、面白さを語り、そんな話を聞いて私も農業は楽しいことなんだと思うようになりました。その時から私の中で農業は「やらなきゃいけないこと」から「やりたいこと」に変わり、この大会に参加したことが就農する決定的なきっかけとなりました。

### 【現在の取り組み】

自分たちで生産した品質の高いメロンに帽子をかぶせるなど付加価値をつけた販売に取り組んでいます。これは、千代川青果市場と協力し、女性農業者たちで帽子や箱のデザインなどのアイデアを出し合い、形にしていきました。現在は千代川青果で特許を取得してもらい、結城普及センターや県西農林事務所にも協力してもらっています。

まずは消費者に対し視覚的に訴え、商品を手にとってもらい、そして品質の良さを知ってもらいたいと思い、この取り組みを行っています。

### 【これからの夢や目標】

生産する量を増やすことよりも、自分たちの目の届く範囲で品質の良いものを作っていきたいと考えています。これは母も同じ意見であり、家族で目線をそろえ、力を合わせてこれからも頑張っていきたいです。

### 【これから「農業を学びたい人」や「就農したい人」へのアドバイス】

すべての人が食べ物をとって生きているので、その生産をする農業はとてもやりがいのある仕事だと思います。

これから農業をするのであれば、法人などで雇われて仕事をするよりも、自営をした方が、やりがいも収入も得られると個人的には思っています。また女性であれば農家にお嫁に行くこともおすすめです。農繁期にはなかなか余裕はありませんが、家族との話し合いによって子育てに協力してもらえたり、時間的にも融通がききやすいと思いますよ。



アイデアを出し合い商品開発



自分でトレーラーにペイントしました